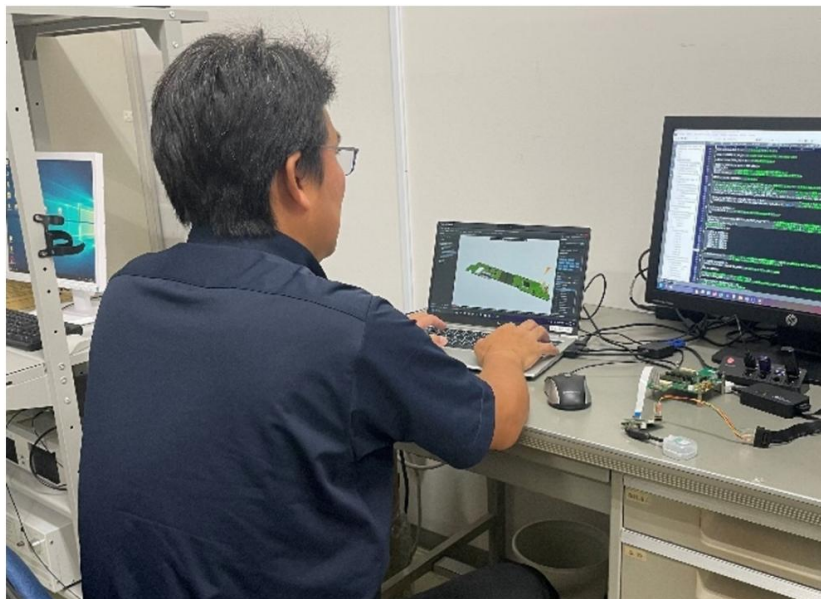


長年の技術とノウハウを生かした開発・設計
盛岡セイコー工業株式会社 谷藤 功雄さん



どんな仕事をしていますか？

セイコーブランドの腕時計生産におけるネジや歯車といった部品製造から、組立や歩度調整など完成体製造までの一貫製造。腕時計製造にとどまらず時計製造で培った技術・技能を生かした小型の非時計製品の開発・設計・製造も行っています。長年時計開発で培った技術とノウハウを生かし、今は生活環境の見える化や、工場などで省エネ目的に使用される小型精密センサーなどの、開発・設計を行っています。

仕事のやりがいを教えて！

入社以来、開発部門にいたおかげで、自分が開発するなかで何度も失敗と成功を経験しました。製品になり世の中に出たとき、お店で販売をされているのを見たとき、その製品をつけている人を見たとき、いつもこの仕事のやりがいを感じ、その環境に感謝しています。

学生時代に「やっておいでよかったこと」「やっておけばよかったこと」

高校時代は何とんでも部活動を頑張っていました。休みは正月3日間、お盆2日間、高校入試の日しか無くとても辛かったですが、今でもその苦楽を共にした仲間とは仲良くしています。部活を引退した後もこの辛さがあって受験勉強を辛いとは思えず、うまく文武を切り替えでき、希望する大学に入学できました。

盛岡セイコー工業株式会社
<http://www.morioka-seiko.co.jp>

好きなことで地域貢献

I G Rいわて銀河鉄道株式会社 業主 智宏さん



県南の高校を卒業後、宮城の大学へ進学した業主さん。鉄道が好きということもあり、その鉄道を通じて岩手に貢献できないかと思い企業研究を行いました。縁あって現在の会社に入社し、列車の安定輸送のために日々努力しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

信号機や踏切、駅放送設備、列車無線といった設備の保守・メンテナンスを行っています。列車を安全に運行するために、法令で定められた内容の検査を定期的に行い、そこで判明した不具合箇所は社員自らが修繕したり、大規模な箇所に関しては専門の施工業者へ工事を発注します。そこで発注した工事の施工管理も主な業務になります。この他にも年度ごとに老朽・劣化した設備の取替や設備故障を未然に防ぐための業務も行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

もともと鉄道が好きだったということに加え、その鉄道を通じて生まれ育った岩手のために地域貢献できないかと思い企業研究をしていくなかで、I G Rいわて銀河鉄道の「I G R地域医療ライン」という自力で長距離の通院が難しい方にスポットを当てた取組を目にしたことがきっかけでした。各鉄道会社の様々な取組を目にしましたが、このような取組はほぼ皆無で、衝撃を受けました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社の特徴をひと言でいうと「風通しの良い会社」であると感じています。あまり規模が大きい会社ゆえに、自分の思ったことを会社に伝えやすく、そしてその意見が取り入れられやすいです。規模の大きな会社だと縦割りの傾向が強いですが、弊社では部署の垣根を超えて関わることが多いので他部署であってもコミュニケーションが活発に行われています。また、どの部署にも若い社員が多く、明るく活発な雰囲気職場だと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社1年目の時、台風による大雨の影響で川が氾濫し、線路を支えている砂利などが流され、列車が丸2日運休するという大きな災害がありました。災害復旧作業中、ある女性の方に「いつから列車が走りますか？」という質問を受けました。翌日の始発から運行再開する旨を伝えたと、その女性は「良かった」と胸をなで下ろし、それまでの不安な顔から笑顔に変わりました。その時の笑顔が印象的で、改めてI G Rが地域のかけがえのない足であると実感しました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

色々な目線で今まで知らなかった世界を知る機会。自分自身を見つめ直し向き合う機会。様々な価値観を持った人と出会う機会。今まで思い描いてきた夢を実現する場を探す機会。就職活動は今までにないチャンスが沢山あります。ぜひ、そのチャンスをより多く掴んでください。就職活動に正解も不正解もないと思いますし、他人と比べる必要もありません。自分の目で見て、話しをして、感じたことを大事に取り組んでください。悔いのない就職活動にしてください。応援しています！

インタビュー：I G Rいわて銀河鉄道株式会社 三浦 凌

I G Rいわて銀河鉄道株式会社
〒020-0133 盛岡市青山2-2-8
URL <https://igr.jp>

鉄路を守り続ける！～新たな挑戦の日々～

I G Rいわて銀河鉄道株式会社 川崎 志穂美さん



小学校から大学まで陸上に打ち込んできた川崎さん。身近な人の支えがあったからこそ長く続けることができました。この経験から仕事を通して身近な誰かを支えたいと思い、縁あってI G Rいわて銀河鉄道に入社しました。現在は技術者として、女性が活躍できる職場拡大を目指しながら、日々、列車運行の安全・安定輸送を支えています。

Q. どのような仕事をしていますか？

最初は、設備管理所の総務グループで、社員の被服類や業務で使用する事務用品等の備品管理を担当していました。その後は、駅員として、窓口で切符や定期券の販売、改札業務、駅の環境整備等を行いました。現在は、設備管理所土木グループに配属となり、お客様が利用する駅ホームやトンネル等の設備点検、工事発注業務やそれに伴う現場立会い等を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

大学で開かれた会社説明会に参加したことがきっかけです。学生の頃は、地元岩手で働きたいと思っていましたが、具体的に就きたい職業は決まっていませんでした。そのような中、何気ない気持ちで参加した説明会でI G Rいわて銀河鉄道と出会い、何度か個別の説明会にも参加するようになりました。どの説明会にいらしている社員の方も気さくで温かく、若い方でも一人一人が明確な目標をもって仕事をしている姿に憧れを抱き、この会社に入社したい！と強く思うようになりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

若手社員からベテラン社員、他部署という壁を越え、気軽に相談しやすい環境が整っていると思います。さらに、会社に対する若手社員の意見を積極的に業務に反映する場面も多く、会社を良くする上で、社員一人一人の「思い」を尊重する会社というのも実感しています。また、鉄道業ということで、業務形態が不規則な部署もあり、体力勝負となる時もあります。そのような中でも、従来の働き方に満足せず、男女関係無く働きやすい環境作りにも焦点を当てる等、常に会社を進化させる雰囲気も感じます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

待合室とホームを繋ぐ通路に雨漏りの水が溜まらないようにする工事を、同じ土木グループの先輩が担当し、工事が終わってから通勤でその駅を利用した際、弊社の先輩駅員から「おかげでお客様が安全に利用できて安心。ありがとう」と声をかけて頂いたことです。自分は工事を担当していませんでしたが、同じグループとしてとても誇りに思いました。お客様が普段使う設備のメンテナンスに関わることができ、お客様のニーズに応え続けられることが大きなやりがいだと強く実感しています。

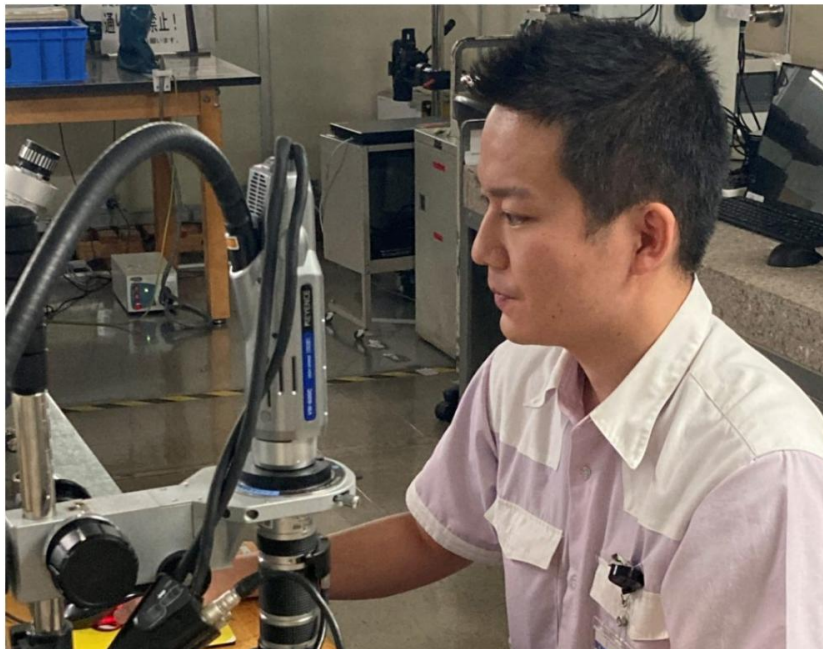
Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職は人生の一つの節目となり、就職活動の際には沢山悩むことがあると思います。しかし世の中には、自分が思っている以上の業種があり、それだけ自分の魅力を発揮できるステージが沢山あるということです。多くの企業を積極的に知っていき、新たな自分の可能性と出会うことを楽しんでいって欲しいです。皆さんを心待ちにしている企業は沢山あるので、自分に自信を持ち、自らどんどんチャンスを掴んで下さい!!就職活動を頑張る全ての皆さん一人一人がオンリーワンで輝ける企業に出会えることを祈っています！

インタビュー：I G Rいわて銀河鉄道株式会社 中軽米 亜樹

I G Rいわて銀河鉄道株式会社
〒020-0133 盛岡市青山2-2-8
URL <https://igr.jp>

時計業界の一員として、責任あるサポートを！
盛岡セイコー工業株式会社 佐藤 佳祐さん



宮城の大学に進学した佐藤さんは茶道部に入部後、マナー全般や総合的な所作を身に付けました。部活で渉外係を担当し、イベントを最初から最後まで遂行する力を養いました。その後、時計業界に興味を持ち、現在の会社に就職。渉外係として培った折衝力が社会人である現在大いに役立っているそうです。

Q. どのような仕事をしていますか？

主に新製品を開発する際に市場に出すのに値するかどうか判断するための業務を行います。図面で検討したり、試作品でテストをしたり実際に手を動かすことだけでなく、調査して対策案をフィードバックすることもあります。問題を提起して解決策を模索する大学の研究と似ている側面も持っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

精密で繊細な技術が詰め込まれた時計を作る職人の技術のすごさを常に実感しています。また、組立や製造では若手でも大きな戦力として活躍しておりOJTがしっかりしているおかげではないかと感じます。若い人でも活躍できるということは、若くても意見を求められるということでもあるので、自主性が必要とされます。若いうちからこんなに任せてもらえるのかという驚きが大きかったですが、その分やりがいもあると思います。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社1年目に新製品を任せられ、その図面検討会で予想以上に時間がかかってしまったことが印象に残っています。はじめの計画では2時間でしたが、4時間にまでオーバーしてしまい段取り不足を痛感しました。今思えば、事前準備が足りなかったですし事前にネゴシエーションしておけば良かったと感じます。反省点が多い会議でしたが、その後の先輩のフォローを糧に苦い思い出を貴重な経験に昇華できたのではないかと思います。

Q. これからの目標を教えてください。

新製品を推進するような部門で引っ張っていける存在になりたいです。時計の品質に関する仕事ですので、深い知識の習得が必要です。またそれだけでなく、関係する部門の流れを意識して会議の進行や資料の準備を行ったり迅速な情報伝達をしたりとやるべきことは多くあります。自分の仕事以外は全て他人事として見るのではなく、製品を市場に送る視点を持ち、一連の流れを自分事として捉える意識を常に持ちたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動をする上で、重要なのは自分が一番大事にしている軸をしっかり探すことだと思います。やりたい仕事、やりたくない仕事、興味のある業界、勤務する場所、休日数など何でもいいので自分が重視する軸を見つけて、それにマッチしている会社を探しましょう。その軸を探す方法として、自己分析を長い時間かけて行うのがいいと考えています。この自己分析を深く出来ていれば就職後にギャップが生まれずに済みます。

インタビュー：盛岡セイコー工業株式会社 吉岡 知華

盛岡セイコー工業株式会社
〒020-0596 岩手郡雫石町板橋61-1
URL <http://www.morioka-seiko.co.jp/>



4年目の新たな挑戦！～I G Rの安全を守る女性社員～
I G Rいわて銀河鉄道株式会社 高橋 咲紀さん



高校を卒業後、盛岡の大学に進学した高橋さん。将来は、地元にて特化した仕事に就きたいと就職活動をするなかで、縁がありI G Rいわて銀河鉄道へ入社しました。現在はI G Rで女性初となる信号通信設備の技術者として、感謝の言葉を大切に日々、地域の安全を支えています。

Q. どのような仕事をしていますか？

これまでに駅と営業部を経験し、駅では駅員としてお客さまへ切符や定期券の販売、改札業務などをおこなっていました。営業部では、関連事業である「びすろ銀河」やコンビニの売上管理、広告作成、メニュー考案などを担当しました。2020年4月から設備管理所信号通信グループに異動し、信号や踏切装置の検査、実施する工事の立会や予算の管理などを行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

私は「この職業に就きたい！」という明確な目標がないまま就職活動に入りました。そんな時に参加した合同説明会で一番温かい雰囲気を感じたのがこの会社です。そして「自分の子どもが誇りに思っている」「他部署でも社員同士の繋がりが強い」「後輩へのサポートが手厚い」という社員の話聞き、この先輩たちと働きたいと強く感じたことがきっかけです。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

安全・安心が求められる仕事なので厳粛な場面もありますが、入社前のイメージどおり職場の雰囲気がとても明るいです。お客さまに見える部分では、駅員や運転士、最近ではSNSでの情報発信や広告の作成など若い社員が活躍する場面が多く仕事にやりがいがあるように感じます。そして、岩手に特化した企業のため、「岩手の魅力」にあらためて気づくことが多いです。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

初めて信号通信設備の不具合を調整したときの緊張感は、忘れられません。信号通信設備は安全のために設置されているので、設備の重要性と責任を肌で感じました。それと同時に「I G Rは連休や遅れが少ないから助かるよ」と、地域の方がお話ししてくださった記憶が蘇りました。当時は、定時運行が当たり前になっている日本で感謝の言葉をいただいたことが印象的でしたが、今の部署に異動して、その言葉をあらためて嬉しく感じています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動をする際に、どうしても生活のなかで目に見える仕事や深く関わったことのある仕事を選択することが多いと思います。もちろん目標や夢に向かうことは大切です。しかし全く知らない企業の会社説明会をたった数分聞くだけで、価値観や視野が広がり自分の財産にもなります。自分が働くうえで何を一番重要視しているのかを大切にしながら、素敵な会社に出会えるように頑張ってください。応援しています。

インタビュー：水嶋 りか

盛岡を環境制御栽培トマトの一大産地に
株式会社いわて若江農園 葉澤 春樹さん



以前はプログラミングに関する仕事をしていました葉澤さん。元々農業に興味があり、盛岡で開催されていた「新農業人フェア」に足を運んでみたところ、社長が企業のプレゼンをしており、話を聞いてみました。そこでは、コンピューターを使ってトマト栽培をしていることを知り、ここでなら前職の知識を生かしながら農業ができると思い、今の会社に転職しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

入社1、2年目はパートさんたちと一緒にトマトの収穫や手入れを行っていました。3、4年目では手入れに加え、農業散布や出荷・納品などお金に関わる仕事もするようになりました。現在では、栽培の計画スケジュールや日々の業務の割り当てなどの管理を中心に行っています。また、前職の知識を生かし、労務システムなども作成しています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

2018～19年作のトマトで反収（一反あたりの収穫量）40.6tをとったことです。盛岡市の夏秋栽培の平均反収は約8tと言われています。弊社では冬の間も栽培する周年栽培を行っているので単純な比較はできませんが、この結果は盛岡では素晴らしいものだと思います。この結果も環境制御技術ならではのものなので、この技術をさらに学んでいけばまだまだ可能性はあると思っています。これからも現場視察などで得た知識を生かして、収量アップを目指していきたいです。

Q. これからの目標を教えてください。

今後できるだけ多く採る、良い条件で売る、より簡単に栽培する方法を見つけるなどの利益の追求をしていきたいです。農業はほかの業種に比べ、低所得に見られがちです。そのため、他産業並みの所得になるようにしていき、農業をやる人を増やしていきたいです。また、新規でトマト栽培をする人たちに栽培データを共有し、地域全体の収穫量を増やしていき、この地域をトマトの一大産地にしていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職するにあたって意識してほしいのは、利益を出していかなければならないということです。それを意識していくには自分が楽しいと思える会社でないと難しいと思います。インターンシップなどでその企業の雰囲気などを実際に体験し、自分に合っているなと思えるような企業を探してみてください。また、どんな職種でも大事なものはお客様だと思っています。お客様が喜んでくれるにはどうすればいいかを考えながら、仕事に取り組んでいってほしいと思います。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡市は、岩手県の県庁所在地ということもあり、人も多く流通などが発達しています。そのため、物が売りやすく、弊社のトマトもたくさん売ることができています。さらに、ここは台風の影響がほとんどなく、農業をするにあたって大きなメリットになります。また、岩手県の中では都心ですが、自然もたくさんあり、人も温かいです。ここも盛岡市の良いところだと感じています。

インタビュー：株式会社いわて若江農園 清水邊 未来

株式会社いわて若江農園
〒0200054 盛岡市猪去一本木18-4
URL <https://www.facebook.com/wakaefarm/>